

# Cibo



シ ー ツ

ブ ラ ウ ス

カ ー テ ン

デ ニ ム

各 種 原 糸

＝ 織 維 綜 合 メ ー カ ー ＝

**愛知紡績株式会社**

名古屋市中区南園町2-4

営業所 東京・大阪

# 世界学生選手権に参加して

第一回世界学生選手権参加日本代表团団長

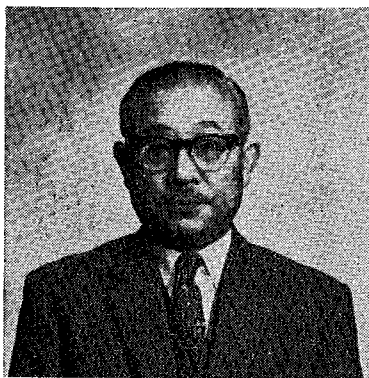
柵

橋

義

輝

私は本年元旦から六日間にわたって、スウェーデンで開かれた第一回世界学生ハンドボール選手権大会に出場する日本代表チームの団長として、北欧の国々を旅する機会に恵まれた。初めの計画ではドイツ、スウェーデン、フランスという順に三カ国だけを回る予定であった。偶然にも、それら以外のデンマークにも立ち寄る機会を得たことは幸いであった。これはスウェーデンにはいつてからわかったことであるが、ちょうどそのころデンマークでルーマニアの女子ハンドボール選手を招待して国際試合の計画が進められていた矢先きであった。日本がスウェーデン大会後、



各地で試合をして回ることを知ったデンマークは、日本を一枚加えようとの希望と、スウェーデンの好意ある計らいであったことらしい。そこで私たち

は、十二月十四日フランス航空機で羽田空港を出発した。十五日からドイツのハンブルグに到着、ブレーメン、ゲルゼンキルヘン、オエルデ、ベッカム、オッフェンベルグの各都市選抜チームとの親善試合の旅をつづけた。ドイツにおける試合はもちろん親善にもあったが、本命の

スウェーデン大会にのぞむ前にハンドボールの祖国としてのこの国で修業を兼ねることであった。それと同時にコンディショニングの調整をしようというところにも狙いがあったわけである。欧州においての日本はハンドボールに関する限り、なんといっても後進国の名に甘んじなければならぬ。だからこれらの計画は決して無意味でなかった。しかし考えねばならぬと思つたこともあった。欧州は夜間試合の慣行がある。さらに終了後の交歓会もある。それが深夜まで及ぶ。そのうえ一時間ないし二時間後に宿舎に帰るスケジュールが、平気で組まれている。これでは選手たちに疲労の度が増加するのではないかと心配した。

さてこの北欧の人達は、われわれ日本人に対する感情はどうであったか。いづれの国々でも、われわれを好感を以て迎えてくれたことは絶対的である。なかんずくドイツ国民は親近感さえ示してくれているようにわたしは感じた。スウェーデン、デンマークでは、ことに辺地の都会の人々は好奇の好感をもっているようにも感じられた。われわれには深い親しみを感じさせた。スウェーデンのカルマ港の歓迎振りは、われわれにとっては有終の美ともいべき盛大なものであった。

## ハンド「第13号 目次」

巻頭言「世界学生選手権に参加して」

7人制一本に決まる 柵橋義輝 (1)

国内に教員の部が誕生 11人制廃止に際して：高嶋 冽 (2)

その経緯と反響と将来性 (3)

「特集」——世界学生選手権 (4)

日本は3敗で最下位 国際試合は6勝10敗 (6)

追いつき、追いこせ：渡辺一己 (8)

日本人は根性を持って：谷 義信 (10)

巧い攻守の切り替え：藤原 侑 (12)

旺盛な技術研究：庄林康次 (13)

自己のベースに巻き込み 市原則之 (14)

クラブチームの養成を 浅野和郎 (14)

うらやましい設備：坂井弘元 (15)

1963年度を展望する 杉山 茂 (18)

第9回全日本総合室内選手権 全日体大、3度目の優勝 (20)

全日本選抜室内選手権 愛知紡、勝負強さを発揮 (22)

第3回全日本実業団選手権 大崎電気、愛知紡3連勝 (24)

体育研究室4) ハンドボール選手の体力(3) 山本隆久 (26)

技術研究室5) 7人制の技術的考察 松本重雄 (28)

連 載 ハンドボール球史4) 関東選手権と関西選手権 (30)

協会だより (5)

楽書 投 地方だより (16)

時評 後 質 問 書 欄 (13)

海外通信 (16)

話題のチーム(14) 盛岡市役所の巻 (31)

表紙写真：第一回世界学生選手権大会対スウェーデン戦から

# 7人制一本に決まる

## 国体に教員の部が誕生

### 11人制を廃止

日本ハンドボール協会は2月9日午後1時から東京お茶の水の岸体育館で全国評議員会を開き、4月から11人制をやめ、7人制の採用などを決めた。

- ① 11人制の廃止　すでに山口国体から7人制に切り替えることを決めたが、国際情勢が11人制から7人制への傾向にあるので、4月1日から協会の主催で行なう競技はすべて7人制とする
- ② 少年団の結成体協のスポーツ少年団の一組織として、4月から全国的な規模でハンドボール少年団を結成する。
- ③ 38年度の新役員　会長に式場隆三郎、副会長に出口林次郎、馬場太郎、理事長に高嶋列の四氏を再選。

### 11人制にピリオド

昨年10月の岡山国体のとき、全国評議員会を開き、「38年の山口国体から全種目7人制とする」ことを決めた。高校男子、一般男子は11人制であったため、大きな反響を呼んだ。高体連の一部には11人制の支持者が多く、「国体の高校男子が7人制になると、インターハイは11人制だから7人制チームと11人制チームの二チームを持たねばならぬ」「11人制一本で行く」「7人制一本で行く」との声が出た。一方学連は11

月23日の会議で「春のリーグ戦、7月の全日本学生王座決定戦は11人制、秋のリーグ戦、11月の全日本学生選手権は7人制」の線を出した。このころからハンドボール界は11人制全廃——7人制の一本化の方向に傾いていた。12月からことしの1月にかけて、学連は「協会が4月から7人制の一本化をはかれば、学連もこの線に沿って協力する」と態度を表明した。協会はさらに高体連の協力を求めるため、高嶋理事長が高体連首脳部と非公式に話し合った結果、「協会の方針に協力する」との返事。これで協会は7人制に踏み切った。2月上旬豊橋で

全日本実業団選手権大会のとき、桜台高の稲石監督が姿を見せ「4月から高体連は11人制をとるのか、7人制に転向するか。実をいうと困っている」と話していた。協会は評議員会を開く9日の朝の理事会で「7人制一本化」を決め、今後の評議員会に提案した。評議員会が高嶋理事長から提案理由を説明し、満場一致で可決した。ハン

ドボールが陸上競技の種目から独立し、11人制の第1回全日本選手権大会が開かれたのが昭和12年11月。それから数えて25年間の歴史を持った11人制が時代の流れとともに姿を消した。IHF（国際ハンドボール連盟）の加盟国34カ国のうち、11人制の実施国は西独、東独、スイス、オランダ、ポランド、イスラエル、ハンガリー、韓国となった。

### 国体参加チームは72

▽：7人制実施により国体の参加チームが

### 協会が生れて25年

日本ハンドボール協会はことしの2月2日で創立25周年を迎えた。日本陸上競技連盟の内部種目だったハンドボールが独立して一本立ちしたので昭和13年2月2日、協会は特に祝賀行事をせず、創立30周年（昭和43年）に記念の催しを行ないます。協会創立25年の歴史は次号に掲載する予定ですが、当時の議事録が見つかったのでとりあえずその一部をご紹介します。これは日本陸連、日本ハンドボール協会の声明書です。（共同通信、鷺尾）

#### 声明書

今般国際送球連盟の日本代表権を日本送球協会に対し、本連盟より円満に譲渡せり、今後送球に関する一切の事は日本送球協会に一任す。右声明す。

昭和十三年二月二日  
日本陸上競技連盟

#### 声明書

今般日本陸上競技連盟より本協会に対し、国際送球連盟日本代表権を譲渡せらる。本協会は日本陸上競技連盟に対し、深甚なる謝意を表するとともに、今後同連盟の姉妹団体として緊密なる提携のもとに、送球競技の正しき普及発達に努力せんことを期す。右声明す。

昭和十三年二月二日  
日本送球協会

問題となった。第17回大会(岡山)までは一般男子、高校男子の11人制をふくめ、参加チームは64チーム。「全種目7人制となっても参加人員は減らさない」という線では高嶋理事長が国体委員会と接衝を重ねてOKをとった。そこで協会は各種目の参加チーム数を一般男子32、一般女子、高校男子、高校女子を各10とし、新たに教員(男子)の部を新設(10チーム)して72チームにする意向で準備を進めていた。ところが協会関係者の一部から「教員の部は一般男子の分身と考えていい。教員の部を合わせると一般男子は32チームから一挙に40チームになる。これでは一般女子が気の毒だ」という声が出た。しかも一般女子は近年急速にチームが増え、38年度にはジュニアキミシン、39年以降になると三菱鉛筆、小田急百貨店、伊勢丹百貨店が名乗りをあげる状態

だ。そこで理事会を開いて検討した結果、関東、東海両地区の一般男子を一チーム減し、一般女子を一チーム増やす案を作成した。これは英断である。さらに山口国体の一般男子を30チーム、新潟国体の教員を30チームと交代させる案も出て、これがすべて評議員会で可決され別表の参加チームが決まった。(東海、関東の一般女子を増やしたのは、関東地区には大崎電気、レナウン工業、38年度にジュニアキミシンの実業団3チーム、東海地区には愛知紡、田村紡の2チームがある。せっかく実業団チームを結成しても、社会人のスポーツ祭典である国体に出場できなくては意味がない。しかも協会が実業団チーム育成の目標を掲げているので、一般女子を優遇するのが妥当であるとの声が圧倒的に多かったためである)。

さる二月九日の定例評議員会は、理事会原案の「全競技を七人制で実施する」議案を満場一致で可決した。これによって四月一日から全国どこに行っても、また男も女も、大人も子供も7人制競技を行なうことになったわけである。

### 11人制競技の廃止に際して

高嶋 列

協会創設いらい満二十五

その幾多の先輩諸氏が、時の推移と国際情勢をよく理解され、郷愁を捨て、大改革に踏み切られたことに対して、深

ながら、矢はずでに弦を離れたのだ。われわれの目標は、世界選手権の獲得と、全国すみずみまでの普及にある。全

たがって現在日本ハンドボール界の指導的立ち場の人々

く敬意を表するものである。この決定に、あるいは不満をもち、あるいはとまどう人があるかもしれない。しかし

は、すべて11人制で育ってきた

われわれがこの新しい試みを成功させたときに、初めて11人制を苦勞して発展させた幾多の先輩諸兄に、ご恩返し

指導者、全選手の諸君よ。世界選手権の獲得に邁進しよう。そして一人でも多くの友人を、ハンドボールのファンにしようではないか。

第18回国体(山口)参加チーム数

地域名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
北海道	1	1	1	1	1
東北	4	2	1	1	1
関東	6	2	1	1	1
近畿	2	1	1	1	1
中四	4	1	1	1	1
九州	5	2	1	1	1
計	30	12	10	10	10

第19回国体(新潟)参加チーム数

地域名	一般男子	一般女子	教員男子	高校男子	高校女子
北海道	1	1	1	1	1
東北	1	2	4	1	1
関東	1	2	6	1	1
近畿	1	2	3	1	1
中四	1	1	5	1	1
九州	1	1	2	1	1
計	10	12	30	10	10

歴代会長	昭和十三年度役員
初代 平沼亮三	会長 平沼亮三
二代 永井松三	副会長 大谷武一
三代 式場隆三郎	理事 塚本庸之助
	浅野均一
	鈴木武
	杉浦卯三
	山県七郎
	保坂周助
	池上金治
	今村嘉雄
	中園弘
	安田弘
	酒井将
	石津誠
	塩沢幹

# 7人制一本化

## その経緯と反響と将来性

昨年関東学生リーグの閉会式で、某理事があいさつの中で『来年からは全部7人制で……』と口をすべらせた。

驚いた学生たちが、方々に問い合わせたが満足な回答は得られなかった。

『いずれそうなるだろうが……』という返事ばかりだったのである。

そのときから一年もたっていない今日、7人制の全面採用が決められた。これだけから判断すると、突発的に11人制を全廃したようにも思える。

本誌前号(12号)にもあるとおり、国内の7人制一本化ムードは日ごとに盛り上がっていた。ことしの山口国体から国体を7人制に切り替えたことや、学連が今年度から秋を7人制で行なうことも決定した。7人制全面採用は、もはや時間の問題だったのである。一部の消息筋は『昭和38年4月から7人制にすることは昨年春からすでに既定の事実だった』とさえ言っている。

だから日本のハンドボール界が、ことしの4月から7人制一本化にしたところで驚くにはあたらない。

しかし、7人制一本化へのムードは急カーブをえがいて盛り上がったのも事実だ。

二年前、本誌(第4号)でハンドボール界で、国際式といったら7人制をさす日が近い。11人制はドイツ式と呼ばねば通用しなくなると書いて反響を呼んだ。

当時はまだその観測が、関係者それも首脳部のメンバーでさえも半信半疑だった。

### 五輪除外で推進

それからわずか二年。いやもつと短い間に7人制一本化へと傾いた。

なぜか? 理由は多い。

日本チームがヨーロッパに遠征して、まのあたりに本場での7人制の盛況を見たことも一因だ。いちばん大きな理由は、オリンピック東京大会の正式種目からはずされたことではなからうか。

このハンドボール界にとってこの惨酷な決定は、改めて日本におけるハンドボール競技の占める位置の低さ、小ささを教えた。

「なんとかしなくては」という考え方が「11人制を斬る」ことであった。

というのが極言なら、7人制の持つおもしろさをもっと積極的に、前面に押し出そうというふうに変言してもよい。

7人制のおもしろさをPRして、イコール、ハンドボールの面白さをPRしようという考え方を間違っていると言う人がいるだろうか。この機を境いにして、日本のハンドボール界は次第に「11人制が主」から、「7人制が主」に移りはじめていった。

現実はそのをはっきり形で表わした。7人制専門のチームが続々と名乗りをあげたのである。

「おもしろい競技だ」と一般ファンもついてくるようになった。将来のハンドボールは7人制で

行こう。協会自体も、積極的に「7人制」切り替えの時期を研究し出したのである。

### ヨーロッパの事情

一方ヨーロッパ各国のハンドボール界はどうだろう。ハンドボールそのものの理解は、日本とは比べものにならぬほど普及されている。しかしそれでも一つの悩みがあった。それは「サッカーに勝てぬ」ことである。

サッカーの異常な人気は、フィールドスポーツとしてのハンドボールの将来に、まことに大きなカベである。

ヨーロッパの関係者は、活路をインドア・スポーツとしてのハンドボールに求め、そして7人制に力を注いだ。その結果、相次いで11人制を斬ろうとする国が出てきた。もちろん11人制の魅力を捨て切れぬ国もあった。それはどの国でも多かれ少かれあることだ。折も折、1964年のオリンピック開催地に東京が決まり、その種目にハンドボールも予定された。

「オリンピック・ハンドボール」にとって不運だったことは、当時の国際的な情勢としては、11人制、7人制いずれとも決め兼ねていった。7人制採用が、支配的な力を

持つまでにいたってはいなかったことである。(このさい主権の日本の当時の情勢は全く無関係である) 死児の年令を数えるようだが、もしオリンピック東京大会の種目

決定まえに国際ハンドボール連盟が7人制に踏み切っていたら。おそらく聖火の下でハンドボールは熱戦譜をつづり得ただろう。しかし世界のハンドボール界はとうより、国際ハンドボール連盟はオリンピック東京大会のハンドボールは11人制で行なうことを当然としていたのである。

だから、オリンピック種目からはずされたショックは、世界のハンドボール界をゆさぶった。特に7人制、11人制併用の国のショックは大きかった。そして「11人制では、いつまでたってもオリンピックに参加できない」ことにも気がついたのである。

いちばやく7人制一本化に踏み切ったある国の役員が、後日高嶋理事長に「オリンピック東京大会からはずされたのは残念だ。でももっと残念なのは国際ハンドボール連盟が7人制中心に切り替える機を失したからだよ」と言ったそうである。つまりヨーロッパの一部の国では、かなり前からハンドボールは

7人制でなくてはダメだと決めてかかっていたのだ。

この観点からいえば、日本もその切り替えは決して早い方ではなかった。

こうした国際情勢も影響して日本のハンドボール界は、『ごく当然のこととして、26年にわたる11人制ハンドボールの歴史を閉じ、永遠の別れを告げたのだ』。

## “一本化”で安心は早い

ところで7人制に切り替えた反響はほとんど聞かない。これでハンドボールも大きく飛躍できそうだという希望的観測が強い。この一本化を歓迎しているといっている。

## ◇ 協会だより ◇

日本ハンドボール協会は2月9日(土)午後1時から日本体育協会会議室で定例全国評議員会を開き、大要次の決定をみた。

1. 役員改選の結果、式場隆三郎会長、出口林次郎、馬場太郎副会長、高嶋別理事長はともに留任。

2. 昭和38年度(昭和38年4月1日以降)から全競技をすべて7人制で行なうことに決定。具体的実施方法は次のとおりとする。

(1) 競技は冬を除き、原則として屋外コートで実施する。

(2) 競技場の広さは、サイドライン44メートル、ゴールライン22メートルがのぞましい。

(3) 競技のさいには、全競技者にスパイク(革またはゴムのポイントのついたもの)の使用を禁止する。原則として運動靴(アップシューズまたはテニスシューズのようなもの)をはかなければならない。

(4) 数日を必要とする大会のさい、雨天などにより競技実施不可能な場合は原則として順延とする。ただし雨天のさいの予備競技場として、体育館などの準備があればこの限りではない。

(5) 全日本総合選手権大会(夏)、全日本室内総合選手権大会(冬)は予選制度を実施する。予選方法については追って発表する。

3. 各都道府県の加盟費及び各チームの登録料は、昨年と同様据え置きとする。

い。

バレーボール界は9人制への執着が強い。9人制だけの協会が別に生まれそうだというニュースも流れた。11人制ハンドボールに固執して、それを押し進めようという動きもないようだ。

7人制に一本化すれば日本のハンドボールは伸びるだろうか。メジャーとまではいかなくとも、マイナースポーツの域から抜け出すことができるだろうか。

担当記者の間では『ハンドボールは7人制の方がはるかにおもしろい。』、『バスケットボールよりスピードだ。』、『新しい室内スポーツとして急激に伸びるだろう』という声も聞かれる。

担当記者の間では『ハンドボールは7人制の方がはるかにおもしろい。』、『バスケットボールよりスピードだ。』、『新しい室内スポーツとして急激に伸びるだろう』という声も聞かれる。

世間の関心を集める点では、11人制よりはるかに優れた特色を持つている。協会のいう『スピードでもおもしろい』ことがその最大の特色である。しかし競技がおもしろいのと、試合がおもしろいのとでは区別して考える必要がある。あるOBがこう言った。「11人制が伸び悩んだのは11人制自体がつまらないからではない。日本のハンドボール技術がお粗末すぎたからだ。技術の未熟を競技自体に欠陥があるかのようにして、7人制に切替えたのでは決してプラスにはならない。担当記者の一人もこういうみか

たをしてしている。『11人制のつまらなさはひとくちに言って中盤での攻防がなかったからだ。だが7人制でも日本のハンドボールは中盤でほとんど攻防戦を展開していない。7人制の特色はスピードだといふ。日本のハンドボールプレイヤーの持つ現在のスピードでは、7人制の真のおもしろさを発揮することはできない。』さらにオールドファンは言う。『西ドイツやルーマニアの見た11人制の技術は、日本の7人制よりはるかにスピードでスリリングである。よほどプレイヤーが自覚しない限り、7人制にしても日本のハンドボール界は大きな飛躍を望めまい。』

## 積極的なPRを

これらの意見は、これからのハンドボール界にとって聞き流すわけにはいかない。7人制にした日本のハンドボール界が一挙に陽に当たる場所へおどり出るには、これまで以上の努力が必要である。協会も、指導者も、プレイヤーも、もういちど7人制ハンドボールを見つめなおすべきだ。

協会はさらに7人制ハンドボールをPRしなければならぬ。マスコミを通じて、7人制ハンドボールの解説に努めなければいけない。

講習会の開催、パンフレットの発行、PR映画の製作など、方法はいくらでもある。日本では7人制どころか「ハンドボール」を知らない人の方が圧倒的に多いのである。

最良の方法は、外国チームを招いて全国各地でゲームを行なうことだ。

技術の習得、PRの一石二鳥である。ことし一年にすべてをかけるなら、7人制も11人制と同じ道を歩まねばならぬだろう。

チームが増える、ファンが集まる……それだけで7人制ハンドボールが、日本のスポーツ界に進出できると思っただらうと思っただいと思っただい。



# スウェーデン

## デンが初優勝

### 日本は3敗で最下位

第一回世界学生ハンドボール選手権大会は1月1日から6日までスウェーデンのルンド市はじめ各市で開かれた。

参加国は日本をはじめスウェーデン、デンマーク、スペイン、西独、ルーマニア、ノルウェーの七カ国（ブルガリアは棄権）が参加し、Aゾーンに分けてリーグ戦を行なった。Aゾーンに出場した日本はスウェーデン、デンマーク、スペインに3敗して最下位となった。決勝はスウェーデン（Aゾーン）と西独（Bゾーン）との間で争われた結果、スウェーデンが14-11で西独を破

り初優勝した。3位はルーマニアに決定した。

日本チームは各地を転戦したあと1月16日夜羽田着て無事帰国した。なお日本チームの国際試合の戦績は世界選手権をふくめて19戦6勝13敗である。

▽第1戦（1月1日、ルンド）

スウェーデン 26 (1313) 12 15 日 本

（評）前半気分的に上がり、あっという間に2-0とリードされた。この間2分たらず。このあとしばらくスウェーデンの攻撃を持ちこたえたが、13分ごろから1分ごとに得点されて13-3で前半を終わった。日本の得点は安達がひとりで3点。後半はやっと試合に

反	0	3	1	3	1	2	1	6	3	1	0
得	6	2	0	0	4	2	3	7	2	0	0
S	9	8	2	1	6	4	7	12	3	0	0

(スウェーデン)

ド	ラ	グ	ン	ス	ト
ソ	ン	ラ	グ	ン	ス
ド	リ	グ	オ	ル	ド
ハ	ン	テ	コ	・	オ
ヨ	リ	ア	ス	・	パ
ヨ	リ	ア	ス	・	パ
ヨ	リ	ア	ス	・	パ
ヨ	リ	ア	ス	・	パ

(日)

反	5	4	5	0	4	7	1	4	1	0	0
得	1	8	0	0	0	0	3	3	0	0	0
S	9	17	0	1	5	3	4	5	0	0	0

なれ、後半のみの得点をみると13-12。しかし前半の失点が最後まで響いて第1戦を失った。スウェーデンのロングシュートとスピードに完全にやられた。ゴール前のフリースローを、そのままバックシュートで得点してくるようなプレー。日本は市原の3点を除くと安達、莊林の得点はすべてサイド









# 追いつき、追いつせ!

## 日本に世界征覇のチャンスはあるか

日本代表団監督 渡辺 一己(関学)

一カ月にわたる海外遠征を終了し、無事帰国できたのはなにもまさる大きなよるこびだ。ここその間の貴重な体験から得た数々の教訓、今後の課題などを要約し一般的報告とともに、第一回世界学生七人制室内選手権大会出場遠征チームの総評を記してみることにした。

まず団長以下全員が初の海外遠征であり、果たして無事初期の目的を遂行できるかどうか、きわめて不安に思った。しかし案ずるよりに生むがやすしとか。当初の予想像、憂慮が結果的には単なる取り越し苦労に終わったのはよろこばしい限りである。これは団長以下全員の理解ある協力と、努力の賜ものと深く感謝したい。

試合場のふんい気も第一戦を飾るに全くふさわしい豪華なものだった。約一千五百を収容する体育館に、二千の観衆がぎぎしりといふかけアリのはい出る余地もないという形容がすばりの盛大さ。ハンブルグ州警察音楽隊の体育館をゆたあつとセレモニーにはいった。内容は形どおりのものであったにせよ、その一つ一つが初めて接する外国での試合、それもハンドボールの祖国というべきドイツのことだけにすべてが感激的だった。おそらく選手団の一人一人がきてよかった。とこゝろまでハンドボールをつきとめてやるぞ、一瞬ではなかつたろうか。

### アップの不足から息切れ……第一戦

しかしそんな感傷もセレモニーが終わって3分とたたないうち

に、試合開始となるあわただしい進行ぶりにたちまち吹き飛ばされてしまった。日本を出発する前に式場会長、高嶋理事長、中沢学連理事長、あるいは田口、佐藤(芝工大出)の両君などから随分いろいろな、そして有意義な体験談、注意を聞いてはいた。そのなかで『試合前アップの時間が全然ない』といった話は聞いたのか聞かなかつたのか。それとも聞きもしなかったのか、おそらく耳にしたのだからか、おそらくそんな大事なことにうかつだった自分を恥じた次第だ。一人がシートを一本打てるか打てないかのうちに、スローオフとなつたのは困った。当然選手の調子はうわづつしてしまつた。10分を過ぎるころには、アップの不足から息切れがきたりして前半はいいとこなし。後半になってやっと落ち着きを取りもどし、後半は逆にリードをとる善戦をみせた。結局は前半のつまずきが最後までたたりて第一戦を失つた。しかも敗れたりといえなシナル・ブレイヤーを三人もまじえたハンブルグ選抜チームに、彼らも驚くほど

の戦いができたのは取獲。このとき「これならやれるぞ」正直なところ全員がそう思った。試合後ハンブルグ協会の要請でベンチ前に整列し「若い力」を合唱した。観衆の割れるような拍手と、床を踏みならすアンコールの要求。再び「雪山賛歌」を合唱した。この今回の遠征を通じて印象に残るシーンだった。ともかくハンブルグはあらゆるケースに体験させてくれた。しかもすべて紳士的な態度で……。重ねていうが、ハンブルグに欧州上陸第一歩を踏んでほんとうによかつたと思う。欧州遠征の場合は、必ずスケージュールの一つに加えるよう進言しておきたい。こんないい試合をしていく次には想像もしなかつた。これで次に日本チームを迎えるときは安心だ。ハンドボールのPRにも大いに役立った。これが試合後のハンブルグ協会役員のわれわれに対することばだったが、「もし三千を収容できる会場なら三千、五千を収容できる会場なら五千の観衆を集めることができただろう」とも付け加えた。

ついでブレイメンを経て年末までゲルゼンキルヘンに落ち着いた。ブレイメン選抜チーム、ゲルゼンキルヘンをベイスに、オエルト、ベッカム、ノイスに遠出して次々とそれらの土地の選抜チームと試合をした。回を重ねるにつれて、ドイツのハンドボールの底力を次第に知らされていった。ハンブルグの第一戦だけを見て、組まずしと単純に判断したわれわれ

がはずかしかつた。ハンブルグではミスと逆襲で大半の失点を呼んだのだが、それからあとの試合もほとんど逆襲で失点を重ねた。「攻撃は対等近くいけるが守備で負ける。この点をどうするかだ」とは高嶋理事長、荒川日体大監督にやましましいわれところだ。いくらすばやくい守備をどうしようと思っても、それを上回るドイツ選手の鋭い足出、脚力にはどうしても及ばなかつた。こちらの三步を一步で事足りる歩幅を持つ相手だからといえればそれまで、そこをどう克服するか。これは非常に重要かつ重大なポイントだとしみじみ思った。がっちりセットを組んだ攻防では、そう簡単に得点を許さなかつたのだから、なおさら逆襲への対策は見のがせない。

今回の遠征で非常に大きな収穫の一つに全西独選抜チームとの対戦があった。これはゲルゼンキルヘン滞在中の最後の試合。世界選手権への総仕上げとしてドイツ協会の好意で実現したものである。その強さはまさに驚異的だ。20メートル×40メートルのせまいコートで、「よくもまあこんな多彩なプレーができるものだ」と感心させられた。これが当然の姿ではなかつたとも考えさせられる実に貴重な体験だった。サイドのすみずみまで活用し、前後のゆきぶりも自在。ほとんど手もつけられないば

### 目をみはる多彩なプレー……西独戦

かりの戦力を見せつけられたとき  
正直いって弱音を吐かずにはいら  
れなかつた。単純なプレーはいっ  
さいない。シュート一つにしても  
同じものは一つもない。それほど  
実に多彩である。ちょうどわれわ  
れの応援にきた日本人炭坑労働者  
の人たちが、「あんなナメたこと  
をしゃがって」と怒りをみせた再  
三の股の下からのシュート。さら  
にバックシュート、右サイドぎり  
ぎりから左に倒れながらの強引な  
シュート。タイミングのいいロン  
グシュートETC……。遠からず

日本もかくありたいとしみじみ思  
った。その半面、簡単にはいかな  
いぞ」と自分で自分にいい聞かせ  
る数々のプレーでもあった。しか  
し、歴史、伝統、広いハンドボー  
ル層、周囲の理解度などすべての  
条件が、月とスッポンの差。普  
通の努力では簡単に西独に追いつ  
けない。といって不可能ときめつ  
けてしまふほど、決定的なもので  
はないと感じたことも確かだ。日  
本選手のすばやいプレー、外人に  
はまねのできない身のこなし。細  
かいテクニクは彼らも驚嘆して  
いたし、生きる道はありあまるほ  
どあるとみたい。それにこれまで  
の日本のハンドボールはフィール  
ド・ハンドボールが大半で、七人  
制室内ハンドボールはほんのお添  
えもの的な存在だった。いわばフ  
ールド・ハンドボールを、そのま  
ま室内に持ち込んだその場限り  
のものだった。室内ハンドボール  
に一本化される日本には大いに希  
望が持てるというものだろう。フ

世界選手権では  
完敗………

世界選手権の第一戦は地元スウ  
エーデン、第二戦はデンマーク、  
第三戦はスペイン。結果はすべてに  
ご存じのようにいずれも完敗だっ  
た。第一戦はスウェーデン(優勝  
チーム)に善戦した。デンマーク  
にたたかれ、勝つと思つたスウ  
ェデンにも敗れた。結局は実力差。  
われわれの非力のありのままを弁  
解の余地もない。しかし技術的に  
特に目だつたところもなかつた。  
要するにここでも攻守への出  
足の差と、シュートのスピードの  
差があつた。ただ一つ「あつ」と  
いつたのは、スウェーデンがゴール  
前のフリー・スローを、直接バ  
ックシュートして得点したプレー  
だ。いくら背たけの違いはあると  
はいえ、情けないというか、相手  
をりつぱとほめるべきか、ちょっ  
と形容に苦しむプレーであつた。  
世界選手権に関しては細かい一つ  
一つのプレーをとらえてどうこう

ワールドで大きくなつたプレーヤ  
ーが室内でいまほど戦えるのだか  
ら、室内に生まれ室内で大成した  
選手たちが、世界のひのき舞台で  
活躍をみせてくれる日が楽しみ  
だ。7人制全盛の本場欧州を思う  
とき、日本ハンドボール界の7人  
制一本化はむしろ遅きに失した感  
さえある。ともかく長い間悩み抜  
いた問題が、無事解決をみたこと  
はよくおしい。この場を借りて  
その英断に敬意を表し、成功を祈  
る次第だ。

いうより、大会の運営、大会の環  
境といったものに触れた方が参考  
になるように思う。そのことをち  
よつと書いてみよう。日本の諸大  
会のように格式張つた入場式、閉  
会式の類はない。  
大会前夜、参加全チームが一堂  
に会してレセプションを行なう。  
翌日からそれぞれが指示された時  
間と場所に集まらつて、大会を進め  
ていくというやり方だ。それもあ  
るときには文字どおり異域同舟。  
敵味方が一つのバスに乗つて一時  
間、あるいは二時間もかかる遠隔  
の試合地に出かける。日本の大会  
とは大変な違いだ。なぜ一つの会  
場、あるいはまとまった地域でや  
らないのか。その理由はいまもわ  
からない。それと宿舎がわれわれ  
の場合、スチューデント・ハウス  
という十階建の近代ビルディング  
を当てがわれる。しかも一階から  
十階まででんでんばらばらに指定  
収容されたのはほんとうに弱つ  
た。試合のコンディションをつく  
るところか、全員が食事ごとに顔  
を合わせるのが精いっぱい。およ  
そ日本では考えられない悪コンデ  
ィションは泣くに泣けなかつた。  
しかも食事には、往復一時間半も  
かかる場所まで行かねばならな  
い。これではたまつたものではな  
い。零下五度から十度もある雪道  
を、食事を求めて一日三度行き帰  
りする。もうそれだけでうかつた  
らつた。今後世界の舞台に進出す  
る日本ハンドボールにとって、技  
術以前にこんな条件を克服する体  
力と精神力、それに慣れが絶対必  
す。

全体を殺さない審判

最後に審判についてちよつと記  
しておこう。選手個々の技術もさ  
ることながら、本場の審判技術は  
さすがにどの一人をとつてもりつ  
ぱだった。ともすれば字句にとら  
われがちな日本に比べると、ずさ  
んともみえる面もあるにはあつ  
た。しかしそれが全体を殺さぬ働  
きとなり、要所は押えている。適  
当にまびくくはまびいた判定は  
実にうまいものだ。りつぱな  
プレーはりつぱな審判によつても  
生まれる。寸分のごまかしも許さ  
ない観衆というジャッジのジャッ  
ジがあるため、審判も自然ポヤポ  
ヤしておれなくなるのだらう。プ  
レーだけでなく日本の審判技術と  
いう面でも、人一倍拍車をかけて  
追いつけ追い越せの熱意、努力が  
必要だと思つた。僭越な言ひだが  
あるいは諸氏の怒りを買ふ部分も  
あつたかと思ふ。要するに道は遠  
いかも思ふ。いや絶対的に世界を制  
するチャンスあり」というのが今  
回の遠征の結論だつた。

最後に今回の遠征に関して多大  
のご指導、ご援助、ご声援をいた  
だいた日本協会役員一同、全日本  
学連役員諸兄に感謝の意を表しま  
す。

投げ良い 受け良い  
ダイヤモンド型(32面体)

モルテン ハンドボール

革路りハンドボール 3号……1,650円  
2号……1,550円

日本ハンドボール協会 公認球

モルテン工業株式会社



# 日本人は根性を持つて

芝工大 谷 義信

遠征前に欧州の学生チームは、クラブチームに比べてあまり強くないと聞かされていた。ところが事實はそうでなかった。プレーを見て驚いたのは、欧州の全選手がボールを完全に握ってプレーしていることである。これは日本の選手がソフトボールを抜かうようなものだ。例をあげると倒れ込みシュートや、7メートルスローのときはフロアーに接する寸前にボールを離す。つまりGKの動きをじゅうぶん見てシュートしている。これは近い将来日本でも採用しなければならぬ。選手の動きは日本の選手のようにきびきびしたところはない。しかし全く理論どおりに動いているため、フィールドプレイヤーは6人でありながら、それが8人も9人もでやっているような動きをする。これは日本選手と比べて体格の相違からくるものである。あの大きなからだをよ

く使いこなせるものだと感心した。日本人が大きいからだをしていると、動きや感が鈍いといわれがちだ。欧州ではそんなことは全然関係ない。欧州チームの共通点は、ディフェンスとオフenseの切り替えが非常に速いことだ。これはハンドボールの鉄則であり、日本がこれをマスターするには時間を要すると思う。

優勝したスウェーデンは同じブロックで対戦したが、プレーそのものが非常に洗練されていた。特にパスワーク、キャッチなどは、他のチームに比べて目を見張るものがあった。全部のプレイヤーがどんな角度からでも、多種多様なシュートを打てるのが強味だと思える。第二位になった西独は2メートル以上の長身者がいた。フリースロー・ラインの外側からボカスカ打ってくる。またそれがゴールインするといふのだから手のつけ

ようがない。残りのプレイヤーはポストなどを使うという形式だった。印象に残ったのは第三位のルーマニアチームである。ルーマニアはスウェーデンやノルウェーなどと比較してみてもそれほど差がない。「共産国」というのが影響されているのだろうか、からだの作りが他のチームと違う。足腰の強さ、バネのある走力は大会随一と評しても過言でない。また勝負という執着心は試合を見ているのはっきりわかる。ゴールエリア付近でボールをキープすると、かならず前へ突進してくる。そしてからだ全体でゴールに入れるという気持で、ファイトいっぱいプレーをする。プレーそのものもスウェーデンに比べて一歩もヒケをとらない。むしろルーマニアの方が細かい動きができるだけ洗練されている。痛切に感じたのは強いチームになればなるほど、ディフェンスの壁が厚いことだ。これは私たちが考えていたよりも、何倍も壁が厚いのだから驚いた。いくらシュートしてもGKに届かなければ得点にならない。それを得点に結びつけたのは、欧州の選手はからだが大いからだ。

日本はこれからも外国チームとの国際試合があるが、当分の間は

体格差のハンディは残る。これは仕方がない。日本人は根性を持たなければいけない。テクニクがいいからといって、まともに対応しては外人の力の前に屈してしまふ。テクニシャンよりも、むしろ土性骨、根性の持っている選手の方が外人に通用するのではないか。レベルそのものは欧州に接近している。日本ハンドボール界も近い将来に欧州と対等、いや対等以上に戦えるときがくる。これは時間の問題だろう。

## 巧い攻守の切り替え

日体大 藤原 侑

日本チームはすべての試合に日本人独特の小さな走り(動き)と、器用さを生かして試合をやった。まず欧州チームのうまさ、攻守のタイミングが非常に良かったということだ。それはディフェンスからオフenseへの切り替え、オフenseからディフェンスに帰るタイミングである。一見鈍いようだが、からだは柔軟性に富んでいる。外国選手の走り方を見ると



対ルントマルメ戦

遠征15試合個人成績

	シュート	得点	率
1. 高遠訪林末田原野原根井薮	9	5	.556
2. 大安親莊孫村藤茂市中坂守	214	81	.379
3.	41	14	.341
4.	27	9	.333
5.	12	4	.333
6.	6	2	.333
7.	155	50	.323
8.	88	27	.307
9.	81	23	.284
10.	70	18	.257
11.	16	2	.125
12.		0	—
計	719	235	.327

(ベッカム、エッセン、全西独、パリ) (学生の記録はふくまれていない。)

遅いように見えるが、一緒に走ると速いには驚いた。だが走力、スタミナでは日本と互角だと思

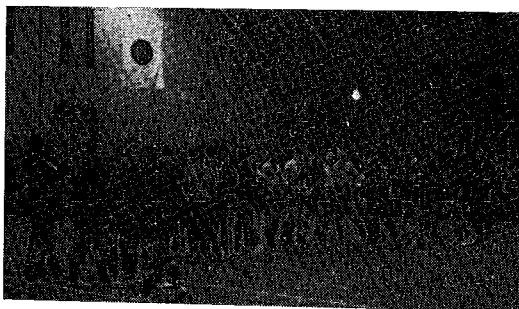
う。日本チームと外国チームとの差について考えてみよう。外国選手はからだが大きく、しかも非常に柔軟である。手が大きいので片手でボールをつかむ。そして自由自在にボールをあやつる。そのうえスピードパスができ、キャッチミスがほとんどない。優勝チームのスウェーデン、二位の西独、三位のルーマニアから典型的なハンドボールが見られた。

だがこの体力的なハンディも、五、六年たてば日本も世界の水準に達することができると思う。このことはドイツでの強化試合のとき、ドイツ人が話をしていたし、

観衆の声援からもこのように感じられた。

欧州チームの共通点はスタートダッシュの速いこと、シュートのさいボールを堅くつかみ、反則されてもゴールポストの中に飛び込んで行くことである。

最後に日本の審判と、欧州の審判の判定が異なったのは困った。外国選手から珍らしがられたシュートは、ブッシュシュート、タイミングシュートだった。



試合終了後のドイツ対スウェーデン

## 旺盛な技術研究

神戸大 莊林 康次

西欧ではハンドボールが完全に一般大衆にとけ込んだ最大のポピュラーなスポーツ。ハンドボールは見るためのスポーツとなつてい

る。これにはまったくらうらやましい限りである。国内におけるハンドボールのポピュラリティーの大きさもさることながら、「彼らの高度のハンドボール技術」彼らの心に底流するハートトレーニング中にも存在する人権尊重の理念」が加味されている。さらにハンドボール人口は日本の比ではなく、その年齢層は十代から四十代にまで広がっている。

総じて、西欧学生はまず第一に学業、その余暇にスポーツをやる。練習も一週間に二日、クラブチームも同じである。私はこのわずかな練習で、世界水準を維持できるものだと不思議に思った。これは科学的、合理的な練習の賜だろう。

## 海外通信

▽：ヨーロッパ杯争奪室内選手権大会の西独対ポーランドの予選は昨年11月18日キールで行なわれた(観衆八千人)。ドイツ(同国室内選手権チーム、T H Wキール)がポーランド(同国選手権チーム、スラズク・ブレスラワ)を19—11(前半9—5)で破り、優勝決定戦(8チーム)出場が決まった。

▽：西独対エジプトの国際試合(室内)は11月2日アムステルダムで行なわれた(観衆五千)。西独は期待どおりの強さをみせ、19—11(前半7—4)でエジプトを破った。エジプトはいままで七回の国際試合を経験しており、いちじるしい進歩をみせた。確実なハンドリング、基礎技術、試合運びを完全に身につけていた。現在のレベルはスペイン、ポルトガル、オランダ級である。

▽：西独ハンドボール協会は昨年11月、ドルトムントで少年ハンドボール講習会を開いた。講師は協会トレーナーのベルナル・ビック氏。参加者は国内から選抜された46人でこのうち8人はすでにナショナルチームに参加した経験者がある。講習会は新しい練習方法、技術、戦術などである。

▽：西独ハンドボール協会はことしの夏スイスで開かれる世界選手権大会(11人制)に備えて、昨年10月末から21人の候補選手をニュールンベルグに集め冬季の個人練習、合宿などについて協議した。(以上西独ハンドボール週報から)

# 自己のペースに

## まき込め

広島商大 市原則之

欧州の学生チームやその他のチームを見て、最初のうちはうまい、すごいというところだけが頭に残った。ところがだんだん見なれてくると彼らの短所が目につき、強いという感じを受けなかった。日本チームの遠征成績を考えたら、こんななりっぱなことは言えない。自分の未熟なプレーを考えたとき、外国選手を批評できないが、ひとくちに言えば、彼らはからだが大きく、球足の早いことだけが目に映った。なかでもフリースローのとき、ポイントがそのままバックシュートで得点する驚くようなプレーがあった。これはいつもやるうと思ってもいけないものでない。バックスが気を抜いたときしか通用しない。彼らはボールを楽に握る。そしていろいろなプレーをする。日本選手もからだが大きければボールを握れるし、彼らと同等のプレーができる。彼らの短所をいちばん感じたのは、瞬間的のダッシュとジャンプシュートをしないうことだ。もしも日本選手のように瞬間的なダッシュをかけ、高く飛び上がってシュートしたら、おそらくもっと強力なチームになっっている。

日本チームはドイツの監督からコーチを受けた。このなかで私は一つ疑問を持った。それはドイツ人監督が「日本チームは攻撃のときの動きが早すぎる」と言ったことだ。からだの大きい外国チームのペースで試合をしたら、からだの小さい日本チームは不利になる。歩幅を例にとってもそれがよくわかる。外国人の一步は日本人の一步半ないし二歩に相当する。日本はそれだけ早い動きを要求されるのだ。だから日本チームは動きが早くても決して不思議はない。このことは試合によく現われる。日本チームがダッシュをかけ、機敏な動きのパスワークで早い攻撃をしたときは、スワークで早い攻撃するチャンスができた。反対にローテンポで攻めるとシュートチャンスがない。テンポを落とすと

ころはやはり落とさなければいけない。日本人は日本人の早い動きで相手を自分のペースにまき込んでしまふことだ。ドイツ人の監督は日本人、外国人の体力の差というものを考えずに言ったのかもしれない。

それから外国選手で感心したのは、試合の状況をよく知り、実にうまい試合運びをする。試合のトランプルで退場者が出た場合、その退場選手が再びコートにはいってくるまでは絶対といっていいほどシュートしないので攻撃を続けている。こんなことはよくわかっている。なかなか実行できないプレーである。余裕を残してプレーしている証拠であり、日本もこれを見習う必要がある。

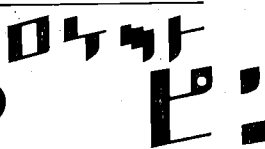
ここでこれから日本チームが、どうすれば外国選手と対等に試合ができるか。それを考えてみる。からだの大きい外国選手を相手にした場合、外国選手が持っている早い動きから攻撃することだ。日本独特の動き、これ以外にないと思う。外国選手はからだの大きいから勝てない」という考えを持っていても世界を制することはできない。こんどの遠征でどう感じた人が多いと思う。

# クラブチームの養成を

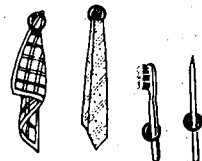
京大 浅野和郎

北欧のスポーツはスキー、スケート、アイスホッケーのウイインタ

## 世界の画鋏



### 使用方法



① 推薦文 宮田 登雄 ②  
画鋏というもの、とる時にいつも苦勞する。それがこの「MUNEKATA」の出現によって完全に解決した。何でもない様だが、使ってみて大した発明だとおもう。歴々に培って愛用している。 Miyata



東京オリンピック選手強化基金協賛  
お礼とお願ひ  
勇闘力、副長助、有難うございました。  
本品の利益の一部が1年後に迫った東京オリンピックに出場予定の、日本代表選手候補や強化選手の強化費にあてられます。立派なスポーツマンが育てられ、目の丸が東京の秋空に一本でも多く掲げられるように望んでいる私達の気持を、お友達や関係の方々にお願ひいただいて、本事業にいいよ御協力下さいますようお願い致します  
製法法人 日本体育協会

このような利便性をそなえるロケットピンは使いたしたらやめられないほど便利で  
商売用には…… 利川範囲が広く 会社、学校 で安心して御愛用ねがえます  
家庭用には…… 市場、御家庭  
製法発売元 株式会社 宗形製作所  
本社 大阪府高槻市建了241  
電話 代表 高槻 01191  
5051-5052  
守口工場 大阪府守口市高瀬町5の35  
電話 (991) 0129, 2782, 2898  
2992, 4718, 4609



最原鉄鉢208550  
注意 特許第一級特許品につき類似品の製造、販売は出来ません。  
(米、英、独、仏、伊、特許出願中)

スポーツ。西欧はもともとポピュラーなフットボール、それに夏はフィールド、冬はインドアで親しまれているハンドボール。西欧のスポーツはハンドボール、フットボールが人気を二分している。特にハンドボールはいつでもできるし、どこへ行っても完備したホールがあり、フットボールをリードしている。特別な地位を占めているわけだ。だからこんどの遠征は毎日興味深く送った。私は室内ハンドボールの経験が浅い。11人制でCFをやっていたため、デイフェンスについては「ズブのしろ」といったので、技術的に興味深く感じたり勉強したりした。技術面についてはほかの人が報告するだろうから、私は技術面以外のことについて報告したい。

日本代表メンバー

- ▽団長 長 淵 橋 義 輝 (中大教授)
- ▽監督 渡 辺 一 己 (関学監督)
- ▽コーチ 勝 繁 夫 (立大監督)
- ▽選手 手 谷 義 信 (芝浦工大)
- 井 弘 元 (中大)
- 原 則 之 (広島商大)
- 達 精 和 (立大)
- 野 訪 紀 一 (慶大)
- 藤 原 康 次 (日体)
- 林 高 恒 貴 (甲南)
- 大 田 末 和 祐 (関立)
- 森 与 中 根 敏 藏 (法大)
- 奥 本 義 和 (同社)

ポーツという特別の使命を感じて出発した。だから技術面以外のことがいつそう目についた。たとえば欧州では大学生をもっとくしぼるといふから、トレーニングの時間をどのように解決しているかという点である。驚いたことには大学チームとしてのトレーニングは週一回が普通という。週一回のほかにクラブチームに所属してトレーニングの不足を補っている。これはクラブチームが市民の中にとけ込んでいることであり、大いに感心した。この方法がある限り、学生スポーツのプロ化はまったく考えられない。自分の意志でハンドボールを楽しみ、一方で学業や仕事に精を出している。だから欧州のハンドボールは発展こそすれ衰亡することはない。ところが日本はどうだろうか。日本のハンドボール界は学生、実業団に依存している。これがハンドボール普及の障害になっている。これは片寄った振興策といたい。大学や高校でハンドボールをやった人が、社会人になってからハンドボールと縁を切る人が多い。これは私の想像だが日本のハンドボール人口の数の倍の人々が、野球、卓球、ゴルフに転向しているのではあるまいか。野球が日本で人気のあるのは、競技自体のおもしろさのみならず、自分も心やすく草野球と称してとび込めることができる点に大きな理由があるのではないか。この点ハンドボールを7人制に切り替えたり。室内でもプレイできるのはいいことである。また新しいハンドボール層形成のために「ハンドボール少年団」をつくるのも政策的にはいいことである。

しかし古いハンドボール層を逃がしてはなんにもならない。クラブチームの養成こそ、ハンドボール普及の最良の策だと思ふ。クラブチームのためのハンドボール教室など具体的な方法はいろいろある。欧州のクラブチーム制度の発達を目のあたりに観察して、以上のようなことをまず考えさせられた。現在の日本ハンドボール界の状況からみて、真の学生スポーツを求めるのは無理だ。個々の大学で独特の方法を発見して解決し

なければならぬ。いま私たちが直面している諸問題(たとえば学生の練習時間、団体競技として全員がチャンスメーカーで、全員がポイントゲッターとなるべき技術面、ハンドボールの普及)はすべて関連を持ち、私たちの前に解決を待っている。

中 大 坂 井 弘 元

欧州学生ハンドボールを見て私が痛切に感じたことは、第一にハンドボールに限らずすべてのスポーツの設備が整っていないことである。各地方まわりつばな体育館がある。このような環境のなかでハンドボールを愛好している欧州学生チーム。この施設を見ただけで選手が強くなるような気がします。第二にハンドボールが非常に普及していることです。欧州ではハンドボール、サッカーなどが日本の野球に匹敵します。試合場には数千の観衆がいります。また各地方に行っても同様です。ハンドボール人口をみても日本の野球同様に大変な数になるそうです。国際試合の前に前座試合として、少年チームの試合があるくらいです。から想像が付ききます。第三に体力の差です。いうまでもなく我々とは格段の差があります。私たちが想像もつかないプレーを容易に



やっつてのけます。しかし欧州学生チームでは抜群といわれる選手は日本人に限られています。他の選手は日本の選手が訓練さえすれば手の届く範囲にいます。日本のレベルが欧州のレベルに追いつくために、私たちがぎょうからやらなければならないことがあります。もちろん体力的な負担もあります。欧州学生チームのようなオソンドックスなプレーを私たちがまねようとしてもそれはむりです。日本人の体力に相応した技術を身につけることだと思ひます。体質改善をはかり、欧州学生チームのように、オソンドックスなプレーで對抗するの一方方法だと思ひます。来年こそは世界の王者になるよう努力を重ねたい。そのためには黙々と実行し、いっそうの努力をしてこそ報いられるのです。「ローマは一日にして成らず」。この言葉を反省の言葉として、次の大会にすべてをつくしたい。



▽：2月9日の全国評議員会にひょっこり姿を現わしたのが大崎電気の社長の渡辺さん。「なにごとですか」と聞いたら「実はきょうの会議で、国体の一般女子の参加チームがいくつになるか心配でやってきた。わたしは第三者だから会議の中にはいることができない。こうして協会事務所の堅いイスに腰かけて決定を待っているんです。昨夜からこのことが気になっておちおち寝ていられなかったんです」と真剣な表情。東京の女子実業団チーム生みの親ともなればこそだ。『関東、東海地区を各二チームに決定』の報に渡辺さんは「よかった。よかった」と手を打って大喜び。これですますフアイトが出た。ことはシューキミンチームが生れるし、国体関東予選は日本最大の激戦地になっておもしろくなった」といながら自家用車を運転して出勤(?)。

▽：全日本実業団選手権(豊橋)から拾う……初出場チームの多い中で、ひととき目立ったのが地元豊橋建設チーム。応援団がすごかった。いざ試合ともなれば、続々と保安帽に身を固めた連中がかつけ、行儀よく並んでの応援。黄色い保安帽に作業服、応援団のリーダーは大学生の角帽に紋付きはかま。日の丸の扇子を片手にチャチャチャ。背番号11番のGK君は堂々たる体格、ちょっとした幕内力士だ。このGK君、右に左に器用に動くが、住友化学のシュートに手を焼いている。腹の大きさは大鵬クラス、なかなかの美男子(?)。会場の人気者。豊橋建設がシュートするたびに「わあ、わあ」と声援がとぶ。実になごやかな大会だった。

## 黄色い保安帽の応援団

＝楽書帖＝ 第13回

鴛尾武治

▽：豊橋の会場に姿を見せた桜台高校の稲石監督。「4月から11人制がなくなるそうだが……」とあたりかまわず聞いて回る。試合はそつちのけ。「高体連も7人制支持に傾いているよ」と教えたら、とたんにシュンとしてしまった。11人制王者の桜台高にしてみればショックに違いない。「そいつは困った。どうしたらいいかわからない。あすから一年生のつもりで7人制と心中するつもりでやるより道なしだ。いままらハンドボールをやるわけにもいかない。11人制ならすぐ使える優秀な選手がいるが、7人制ではむりだな。本人になんと言おうかな」とさかんに頭をひねっていた。

▽：本誌12号に「ハンドボールの詩」を投稿した名古屋の塚田みづさんが豊橋へ来て実業団大会を観戦。石岡二高―大崎電気の選手だったが、腰を痛めて現役を退いた。「ハンドボールっていつ見てもいいですね。なつかしいです」といながら大崎電気(女子)を応援していた。

## 時評

▽：4月から11人制が姿を消し7人制一本となった。日本にハンドボール競技が移入され長い歴史を誇っていたが、やはり時代の流れにさからうことはできなかった。11人制で隆盛をきわめただけに11人制愛好者にとっては親が子を失ったと同じ気持ちだろう。CRK

## 7人制は自分との闘い

OVER SPLIT MILK (死んだ子の年を数えるな) ではないが、この際さっぱりと11人制を捨て、7人制の発展に努力してもらいたい。7人制一本になったからには、協会自体も大いに努力してほしい。特に男子高校、大学チームに対しては、手厚い援助の手をさしよるべきだ。いままでも11人制オンリーできた。コーチ陣にしても11人制なら専門家が、7人制については専門家とはいえない。高校の監督にきいても「7人制は自分との戦いである。11人制なら目をつむっていてもいいが……」と言っているほどだ。大学にしても同じことがいえる。審判講習会、ルール研究会、指導者講習会をできるだけ多く開催して7人制の普及を徹底的にやるべきだ。予算面で苦しいことがあるかもしれない。協会の役員といえども俸給生活者である。地方へ行くとなれば制約される面も出てくる。しかしこのくらいの犠牲を払ってまでやらないと、せっかくの7人制も伸び悩むのではないか。ファンの心理をかむためにも地方行脚が大事である。○：7人制に統一されたところで、ぜひ考えてもらいたいのが記録用紙。見やすく、使いやすいものをつくってほしい。また、報道各社の個人テールの書き方がマチマチなのも、協会の指示がアイマイだからであろう。

## 望まれる地方行脚、記録の統一

この機に協会としての試案を関係者に示したらどうだろうか参考までに本誌編集部では本誌13号から

【東京】藤村藤田木中藤田辺口  
【東】佐中伊山鈴田加吉渡山

GK

このほかGKをFP(フィールドプレイヤー)に分ける方法もある。またルールに忠実にそのポジションによって

GK FB FW  
GK B FW  
GK FB FW  
GK B FW

辺藤村藤田木中  
渡佐中伊山鈴田

などの表わし方もあるが、バックスとFWはFPとしてまとめる方がよいようにある。

記録保存の見地からも新シーズン開幕までに、一つの「決定」をみてもらいたいものである。

# PARIS



ボーイング 707 ジェット機が  
東京から毎日就航！  
(但し月曜日を除く)

## ■ヨーロッパの玄関—パリ

パリはヨーロッパの政治、経済、文化の中心で、ローマ、ハンブルグと共にヨーロッパ旅行への最も便利な玄関になっています。

## ■パリの玄関—オルリ空港

ヨーロッパでいちばん新しく、規模の大きいオルリ空港は、その設備も極度に合理化された近代的な空港として定評があります。また空港ビルには世界で最も完備した免税ショップが開店しました。ここでは品物によっては市価の半値以下でお買物をなさることもできます。

## ■エール・フランスは日本人駐在員を配置

海外旅行をされる日本のお客様のためのサービスの一端としてエール・フランスではヨーロッパ各地に22名の日本人駐在員を配置しております。パリでは、オルリ空港とシャンゼリゼ営業所に日本のお客様専用のカウンターを特設し、みなさまのおいでをお待ちしております。

## エール フランス

東京都千代田区日比谷三井ビル TEL (501) 6331 (代表)  
大阪市東区大川町淀屋橋勸銀ビル TEL (202) 3326 (代表)  
名古屋市中区堀内町 毎日ビル502号室 TEL (54) 0540



# 1963年度を展望する

## 杉山茂

### 全体的な展望

新シーズン開幕の二カ月前に協会は男子11人制の全廃を決めた。ある程度予測された事態だが、11人制と7人制ではトレーニングの方法から違う。

ほとんどのチームが11人制を主にしたチームであり、この切替えは、指導者やプレイヤーにとって影響が大きい。

さて、7人制に統一され、国体に教職員の部が設けられたので国内の勢力分布図も変わってきた。ことにクラブ(一般男子)界は、これまでの有力チームが教職員を主力に編成されていた。この機に、実業団チームが一気に台頭することも考えられる。学生界、高校界はこれまで7人制の全国大会がなかっただけに波乱が予想される。

女子は実業団の相次ぐ誕生で、年々レベルが高くなって来ているのはよろこばしい。

おそらくことしも例年以上の活況を見せるだろう。ここで、ことしの各分野の大きな展望をし

てみる。

### 一般男子

昨シーズンの主要大会のタイトルは、全日本実業団が大崎電気(東京)、全日本室内が全日本大(東京)、全日本学生と学生王座が芝浦工大。関東学生は春が日体大、秋が芝浦工大。関西学生は春が関学、秋が同大であった。この6チームが現在日本を代表するチームであるとしても異論はない。ことに「ことしこそ四冠王……」をとという大崎電気の豪華な陣容は最強の名にふさわしい。大崎をめぐる優勝争いがことしの焦点となる。

室内で大崎を倒した全日体大の伝統の地力も相当なものだ。現役の充実若手のOB結集があればやはりその実力は最右翼である。

大崎—全日体大は顔を合わせるたびに球史に残る名勝負をつづるだろう。学生、実業団を除いて、この両者に迫るチームは桜丘会(愛知)清商(静岡)の東海勢、大阪、京都の近畿勢あたりではない

だろうか。名門の桐生(群馬)、白亜(岩手)、山口、サンダークラブ(北海道)、福岡、足利球友会(栃木)、氷見(富山)、熊本などがこれに続く実力を持っている。

実業団は大崎電気を別格として住友化学(愛媛)、三菱大(広島)、宗形製作所(大阪)、新三菱重工(愛知)、盛岡市役所(岩手)、丸紅飯田(大阪)、本田技研(三重)あたりがAクラスである。

教職員はもともレベルの高い選手が多い。全日本教職員と新設の国体教職員の両タイトルを目標として激しい争いが展開される。東日本は東京、愛知、長野、茨城。西日本は大阪、神戸(神戸ストーク)、山口、熊本あたりが強そう

### 学生

芝浦工大、日体大(以上関東)、関学、同大(以上関西)が、ことしも東西両リーグの頂点に立つことは間違いない。大崎、全日体大と互角の勝負をし、全日本のタイトルを狙うのは、学

4月から東京に女子実業団が誕生する。その名はジュエキミン(菊本)、佐藤(菊華高II東京)、西村(菊華高)、能登(有磯高)の9人。大崎電気の渡辺社長は「ジュエキミンができたなら、関東女子実業団リーグ戦を計画している」とジュエキミン誕生を歓迎している。

### ジュエキミン誕生

監督は近藤金博君(芝浦工大出)、選手は高野(笠間高II茨城)、青木(笠間高)、鈴木(水海道二高II GK)、斎藤(秋田和洋女高)、山口(秋田和洋女高)、福岡(水俣高II

生界ではこの四チームぐらいである。しかしこれを追うグループとの実力は文字どおり紙一重だ。

昨年関西で春の優勝校関学が、秋には一挙にBクラスに落ちた。関東でも春三位の法大が、秋は最下位といった状態である。これは各大学のレベルが伯仲している時代も珍しい。

関東では芝浦工大、日体大に次いで立大の復活が期待できる。昭和27、28年ごろ、全盛を誇った立大も、その後はやや低調である。それからちょうど十年、今シーズンの成長株とし注目したい。

早、明、法、慶の4大学のなかでは早大がいちばん充実している。中大は毎シーズン期待されながら評判を裏切っていたが、ことしこそ真価を発揮してもらいたい。教大、順天堂大、東大、防大、

熊本)、佐藤(菊華高II東京)、西村(菊華高)、能登(有磯高)の9人。大崎電気の渡辺社長は「ジュエキミンができたなら、関東女子実業団リーグ戦を計画している」とジュエキミン誕生を歓迎している。

山岡社長も昨年12月の全日本室内選手権のとき「チームをつくり出す。しろうとですからよろしく」と早くも関係者にあいさつ回りを。茨城大の奮起を望みたい。

関学は関西のムシである。関学の低調はリーグ全体の活気をとぼしくさせる。攻守の安定感からいえば同大が筆頭である。昨秋のメンバーから卒業が一人だけというのにも有利だ。宿願の春秋優勝を果すチャンスである。全日本学生、学生王座をも手の中にしたいところだ。関大、京大の古豪に対して、桃山学院大、甲南大の新進の充実も興味がある。中大は評判倒れに終わるシーズンが多い。立命大と共にダークホースぶりを期待したい。二部校では

大府大、大歯大、大経大あたりが  
進出しよう。

このほか、今シーズンは関西学  
連全体の問題として「打倒関東  
勢」がある。

ここの二、三年、東西の実力差が  
はつきりついてしまったようだ。

7人制切替えを機に再びその差  
がつまみ、よい意味での東西の対  
抗意識が激しくなっている。こ  
れは学生界のためにも意義のある  
ことだ。地方勢では中京大、岐阜  
大(東海)、東北学院大、東北大(東  
北・北海道)、広島商大、山口大(中  
四国)、熊本商大(九州)あたりが  
東西のレベルに近づいてきた。

地方勢の進境はまことによろば  
しいことだ。ことに中京大、広島  
商大の二校は、全日本学生で優勝  
圏内にはいる力を持っている。地  
方勢のレベル向上のために、東西  
各校が積極的に関わり、交流する  
よう望んでおこう。

### 女子

ことしも全国タイトルは  
すべて実業団の手に落ち  
そう。

いまの実業団チームの置かれて  
いる環境もまことに恵れている。

クラブチームは、善戦が精いっ  
ぱいである。高校チームは強チー  
ムが出現しない限り、実業団の手  
から優勝タイトルを奪うことはむ

りだ。

なかでも愛知紡(愛知)の強さ  
ははずば抜けている。全日本6連勝、  
全日本実業団3連勝、全日本室内  
2連勝。破竹の進撃はとどまると  
ころをしらない。

昨秋の国体決勝で大洋デパート  
(熊本)に敗れたあと、選手たち  
は「自分たちでも負けることがあ  
るんだな」と話していた。思いあ  
がりでもなんでもない。その裏に  
かくされたすばらしい気力が、この  
大チームのすべてなのだ。国体以  
後主力三人が負傷しながら全日本  
室内、全日本選抜に優勝、2月の  
全日本実業団ではすっかり元どお  
りになってしまった。

男子でもこのような根性を持つ  
選手をそろえたチームはそうザラ  
にはあるまい。今シーズンは久し  
ぶりに大量の新人が加わるそうだ  
ことしも勝ち抜くことだろう。

愛知紡の対抗は大洋デパート、  
大崎電気(東京)だ。  
どちらも素質のある好選手がい  
る。どんな試合でも力をフルに発  
揮することができない。

力がありながら安定感に欠けて  
いる。それさえなくなれば全国タ  
イトルはとれる。

この二者に続くのは寝屋川ク  
(大阪)、日体大(東京)、レナウン

工業(東京)、田村紡(三重)だ。

名門寝屋川高のOGで編成する  
寝屋川クは、クラブチームという  
ハンディを、相変らずの強気でカ  
バーしているのは見事だ。クラブ  
チームではこのほか浦谷OG(宮  
城)、富山女OG、北海道二ク(茨  
城)、梅花ク(大阪)、静岡城北ク  
大谷ク(大阪)、明善ク(福岡)な  
どの名門チーム、徳山ク(山口)、  
三国丘ク(大阪)などの新進も伸  
びてきた。

しかし、最近のクラブチームは  
母校(現役)が強くても、新卒業  
生が実業団チームに加わると云う  
新しい傾向のため、クラブ自体は  
思うような補強ができない。しか  
も連日組織的な練習ができない。  
ことしあたりは、実業団との差が  
相当開いてしまいうえである。

日体大は学生界に競争相手がな  
く、日体短大(関東)、中京大(東  
海)の進境を望みたいところだ。

### 高校

男女とも加盟校が急激に  
増えている。ことしは7  
人制に統一されたのでチームはさ  
らに増えそう。

どの地方の役員に聞いても「こ  
としはわかりませんよ」という。  
思わぬチームがとび出してきそう  
な気配である。一例だが、愛知県  
といえばここ数年、桜台高、中京

商のいずれかが優勝を分け合っ  
ていたものだ。それが昨冬の新人戦  
では一宮高が優勝してしまった。

どの地区も今シーズンは、大なり  
小なり、このような波乱が起きよ  
う。

女子の方には期待が大きい。そ  
れは実業団の手から全国タイトル  
を奪うのは、OGや学生チームよ  
りも高校現役の上位チームに可能  
性が濃いからである。

昨年の全日本室内決勝で、静岡  
城北高が愛知紡を窮地においつめ  
た。惜しくも大魚を逸したのでも  
わかるように、そのレベルは非常  
に高い。それと実業団の誕生でプ  
レーヤーが刺激され、レベルが上  
がってきていることはよろこばし  
い。

高校界の詳細については、男女  
とも夏の全日本高校選手権の前  
稿を改めることとした。

### 自衛隊

自衛隊球界はチーム数  
も増し、それにつれて  
レベルもシーズンごとに上がって  
きている。

二月の全日本実業団選手権に顔  
を見せた第32普通科連隊(東京II  
自衛隊東部方面大会二位)は、攻  
守にまとまりのある好チームだっ  
た。待望の全国自衛隊大会開催の  
可能性も濃く、今シーズンはさら  
に大きな飛躍をとげるだろう。

日本ハンドボール協会公認球

# ピーコック印ボール



## 前田運動具製作所

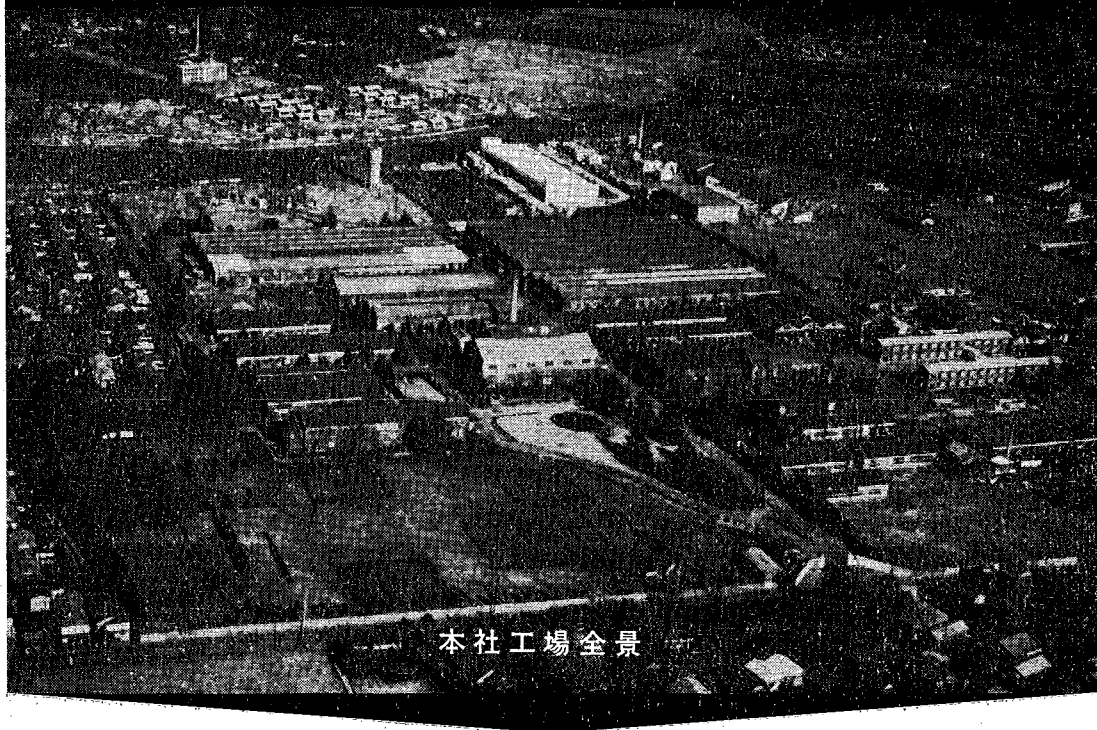
東京・江東区大島町5-538 TEL (681) 9197・9198



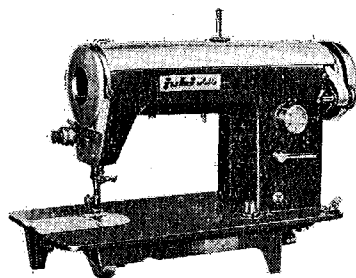




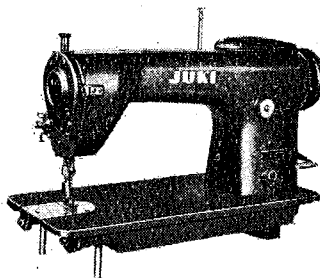
# 躍進を続けるミシン編機総合メーカー



本社工場全景



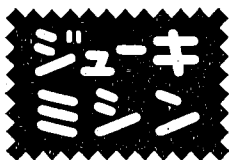
家庭用ミシン HW-62型



工業用ミシン DDW-122型



K-831型



東京重機工業株式会社



# 大崎電気(男)愛知紡(女)3連勝

## 第3回全日本実業団選手権



第3回全日本実業団選手権大会(室内)は2月3、4日の二日間、愛知県の豊橋市体育館(第一のみ豊橋東高体育館併用)に男子16(兼権一)、女子5チームが参加して行なわれた。予想どおり男子は大崎電気(東京)、女子は愛知紡(愛知)がともに3年連続優勝を飾った。

大会は第一日に高松宮妃殿下が来場され、また地元チームの活躍などあって盛況。地元役員の大活躍もスムーズで、球界の成長をはっきり示したのは取獲だった。

### 住友、速攻に進歩

男子

示し、住友化学の成長も注目され

(宇津野)

▽一回戦	大崎電気	26	1511	2	4	本田技研
	三菱レ大	不戦勝				(二重)
	竹(広島)					自衛隊朝霞(埼玉)
	新三菱重	19	109	105	15	丸紅飯田
	工(愛知)					(大阪)
	盛岡市役	14	77	46	10	日本合成
	所(岩手)					ゴム(三重)
	豊橋建設	17	98	23	5	安田生命
	(愛知)					(東京)
	京都市役	28	171	78	15	東芝三重
	所(京都)					(三重)
	科連隊	16	88	52	7	東洋レ
	第32普通					ヨシ
	科連隊	16	88	52	7	東洋レ
	(東京)					
	住友化学	25	169	82	10	日野自動
	(愛媛)					車(静岡)

○：大学出の若手OBを中心とした丸紅飯田、安田生命、静岡日野自動車などが個人技以外見るべきものがなく敗れた。盛岡市役所、新三菱重工、住友化学、豊橋建設などは、高校出の気鋭をそろえたチームでまとまりのあるプレーで進出した。

とくに盛岡市役所、豊橋建設の見た巧妙なオフフェンスは、7人制に対する研究のあとをはっきり

▽準々決勝	大崎電気	26	1412	11	3	三菱
	盛岡	17	710	132	15	新三
	市役所	14	68	14	10	京重
	豊橋建設	14	68	14	10	市役
	住友化学	25	1015	17	11	第32普通
	本	25	1015	17	11	科連隊
	菊	25	1015	17	11	科連隊

○：期待された大崎の速攻に敗れたところなく大崎の三菱に取れた。三菱はディフェンスのマークが甘く、大崎はゴール前でやすやすとパスを通じた。そしてほとんど正面からノーマーク同様のシュートで打って得点した。三菱の不元気はいささか期待はずれだった。盛岡一新三菱は力では新三菱が一枚上。前半単調なパスを繰り返し、盛岡のプレス気味のディフェンスにカットされるという試合のまじさ。後半の猛反撃もむなしく敗れた。盛岡がゴール前、パスケット的な攻法でチャンスを生んでいたのはうまかった。豊橋―京都は地元の大声援を受けた豊橋が、攻守ともに京都を自己のペースをまき込んだ。とくに速攻、速攻を使い分けたオフフェンスは初出場らしくらぬまとまりを見た。第四試合

は第32普通科連隊がスピードのあは攻撃を見せたので、点差の割に力はいった試合となった。住友は「室内戦法」にくふうのあとが見え、巧みなショートパス攻法を多用して、快勝した。

### 住友、速攻に進歩

女子

しかし住友は「この大会で最も成長のあとを見た(高嶋理事長

(杉山)

▽準決勝	大崎電気	26	1511	53	8	盛岡
	市役所					

【豊橋建設】	高(高)	48	29	4
【住友化学】	北松中伊上厚村中長宮	51	32	5
【盛岡市役所】	山井野藤田井田村崎	38	38	4
【大崎電気】	竹宮金田高村井宮坂福	52	42	6

の中野の判断のよいボール回しと、伊藤、松井、北山らの多彩なシュートで攻撃に一日の長を見せた。西本、伊藤、横井らベテランの好リードで、善戦する豊橋を退けた。敗れたとはいえ豊橋の健闘は大会を盛り上げにじゅうぶんだった。

愛知紡の第一回優勝を認定  
日本ハンドボール協会は昭和35年12月、広島で開かれた第一回全日本実業団選手権大会女子の部に出場を申し込んだ住友知紡(愛知)を、「第一回全日本実業団女子選手権チーム」として正式に認定したと2月4日豊橋で発表した。

内容、点差はともかく、初登場の盛岡がまとまりのあるチームプレーで、こま進出したのは賞されていい。



# ハンドボール選手の体力

—全身反応時間について—

山本 隆久

## 全身反応時間と敏捷性

反応時間(Reaction Time)は、身体が外部から何等かの刺激を受けた場合に、その刺激に対応する筋肉が活動を開始するまでの時間である。外部からの刺激は、大脳に伝えられ、刺激に対応する活動を起させるために、大脳からの命令が運動神経等により筋肉に伝えられ、筋肉が収縮して活動が開始されるのである。

反応時間の測定には音(ベルやブザー等)や、光(豆電球の点滅)の刺激により、あらかじめ定められた運動を、手又は脚等の身体の一部位によって行ない、刺激が与えられる時から運動をおこなう迄の時間をカイモグラフ(回転円筒)又は、クロノスコープによって測定している。

これらの測定によって得た数値は、一応敏捷性(いわゆる「すばやい動き」を表わしていると考えられる。競技において「どうしたらよいか」「何をすべきか」「次の場面でどの様な事がおこるか」等と考えている暇はなく、とっさに行動に移らねばならない。味方のパスが、いつ、どの様な速さで、どの方向に、どれ位投げられるか瞬間的に判断して行動をおこしたり、相手のガードをはずしたり、又、逆に相手のガードをはずす瞬間的な動作の遅速は、基本技術や、体力の他の要素と共に選手としての資格を決定する重要な要因の一つである。

しかしながら、身体の一部位の

動きの速さのみで、全身を動かす様なスポーツ選手の全てを判断することは早計であろう。アメリカのキニアトン氏は、運動競技においては前述の様な反応時間よりも、全身を動かす様な反応時間(すなわち全身反応時間—Whole Body Reaction Time)の方がより競技に関係が深いとして種々な被検者にて実験を行なつて、端的にいうと全身反応時間とは、刺激に対して全身を動かす活動を行なう反応時間である。日本においても最近東京大学教育学部体育研究室において全身反応時間の研究が進められており、単純な動作に全身反応時間から、単純な動作にボールゲームズに應用できる様な関連の深い全身反応時間の研究が為されると考えられる。

選手の体力を測定するに当って前述の様な理由から、今回は全身反応時間を測定した。

### 測定の方法

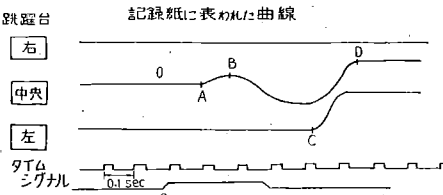
用具は東京大学教育学部体育研究室で考案された測定器でストロインゲージの組みこまれた跳躍台、抵抗器、増幅器、記録器から成っており、跳躍台上にて、全身を動かす動作(跳躍)を行なつた時、その動きの時期が跳躍のために加えられたひずみの変化としてストロインゲージにより測定され記録される。

### 男子選手について

△測定年月日及び場所 昭和三七年四月二二日東京大学教養学部  
△被検校及び被検者 大学一部校 芝浦工大(二三名)、日体大(一二

名)、二部校順天堂大(八名)、東大(二四名)

△測定方法 ハンドボール競技の性格から唯単に垂直に全身を持ちあげる動作でなく、身体を横へ移動させる動作を行なわせた。記録は次の様にして読まれる。



この図は跳躍台から刺激により左の方へ移動した時に表らわられる模式図である。最初中央に立つて刺激が与えられると(0点)しばらく経って表面に動作が表られ、その動きが記録される(A点)片脚が台からはなれた時(B点)で、C点は左の跳躍台へ片脚がついた時である。中央の跳躍台から両脚が完全にはなれた時がD点になる。

### △測定成績について

今回は全身反応時間の中でも  
OB: 刺激を受けてから片脚がはなれるまで刺  
OC: 刺を受けてから片脚がどち  
らかの跳躍台につくまで

の二つの時間について考察してみた。測定成績は第1表の通りである。

第1表

測定区分	チ1		Wup
	一部校	二部校	
OB	0.311	0.316	0.316
OC	0.366	0.375	0.350

この結果を考察してみると、一、一部校と二部校との間には殆んど差がみられない。強いていえば、OCつまり片脚が右か左の台につくまでの時間に多少の差がみられる。この事は神経系統の伝播の早さでなくむしろ筋力に影響しているのではないかと思われる。「ハンドボールNo.10」ハンドボール選手の体力で、一部校の方が二部校より筋力(これは右上腕の屈筋力である)が優っていたことと合致するものである。

二、Wup後では神経系統の伝播の早さが一様におそくなるのに比べて、筋肉の動きが早くなっている。(Wupは各選手に約五分間位でベストコンディションにする様に指示して行なわせたもので、その内容は夫々選手によって異なっている。)この事はWupに問題があるのか、或は又、ベストコンディションというものの、夫々差異があつて、一様でない為におこるものか不明であるが、Wupが筋肉関係に重点がおかれてある状態は十分に観察される。

女子選手について  
△測定年月日及び場所 昭和三七



技術研究室 (第五回)

7人制の技術的考察

担当 松本重雄

ことしの4月1日から7人制一本となった。この機会に7人制についての考え方をまとめてみた。

◎競技の全般的な考え方  
 イ、競技者すべてが競技をする。つまり攻防に休む余裕が少ないこと。  
 ロ、競技者は攻防共通している。オールラウンドプレイヤーが必要条件であること。  
 ハ、速攻、遅行が割り合いはつき



大崎電気竹野選手にコーチする筆者

ヘ、ルールの理解とチームワーク (特に攻防のコンビネーション) を必要とする。ト、個々のプレ

リしていること。そのミックスと、切換えのタイミングをつかむ必要があること。  
 ニ、中盤も時によって攻防に含まれること。つまり中盤戦の妙味があること。  
 ホ、メンバーチェンジによる切換え、作戦的变化などを必要とする。ルールの理解とチームワーク (特に攻防のコンビネーション) を必要とする。

◎競技者の技術

- 1 全般的なもの
  - 身体の柔軟性を必要とする。あらゆるスタイルからパス、シュート、動き、切り込みに柔軟性を必要とする。
  - 複雑なプレーを必要とすること
  - ボールをつかむ必要があること
  - 初歩時代からボールを、手に(片手)握ることがのぞましい。
  - 巧緻性を必要とすること。
  - 敏捷性を必要とすること。
  - 走力、投力、跳力を養うこと。
  - スタミナをつけること。
  - スタミナの配分を考へること。
  - 体格(特に身長)からくる重圧感をもつこと。
  - いわゆる勘のよさを養うこと。
  - スピード感が特に要求されるため、その中であってひらめきの速い、好判断、その場の構造を支配する能力を養うこと。
  - フアイトと強固な意志の養成。
  - オフフェンス即ディフェンスであること。その逆もまた真であること。つまり速攻の攻防をつねに考へること。
  - 攻防のフォーメーションを必ず持つこと。作戦的動きのないことは、決して勝利も進歩もあり得ないこと。
  - 攻防において、各プレイヤーの持ち味を善用すること。
  - (攻撃) ロングシューター。ボールの配給者。ポストプレイヤー。切り込みの巧者。サイド攻撃巧者。オトリ的攻撃者。ブロックング巧者。
  - (防禦) 身長に恵まれたもの。カット巧者、キーパーの壁として、コンビネーション巧者。
  - ドリブルの多用を避けること。
  - 速攻は原則としてクロスプレーをする必要がないこと。(直線的攻撃)。
  - 速攻の防禦は原則として、ボールに関係なく帰陣すること。
  - シュートは上下以外、左右にジャンプ(倒れとび)する必要があること。
  - 倒れ込みの安全性を訓練すること。
  - キーパーの安全性を備へること。

日本ハンドボール協会公認球

最大の生産能力 最高の技術を有する!

定評ある!

新発売!! 皮革(18枚貼)製

**ミカサボール**

(身体的予防)

○キーパーは足さばきを身につけること。

2 練習  
○走力について

瞬間的ダッシュの練習を特に必要とする。腰高でもいいから速く走る陸上競技形も考えに入れるべきであること。長距離走、インターバル走法によるスタミナの養成。スタミナの配分。サーキットトレーニングによるスタ

ミナの発展充実を計りたい。

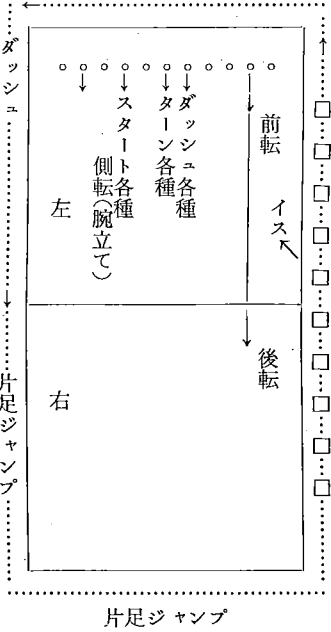
○投力について

つかんで投げる技術。両手の速いパス(チェストパス)。クイックモーションパス。バックパス。手渡しパス。変化に豊かな技術を必要とする。

○跳力について

走ることや腰高も要求されるが、腰、膝のバネを養成すること。以上のことから例として(サー

一列縦隊ジョッキング

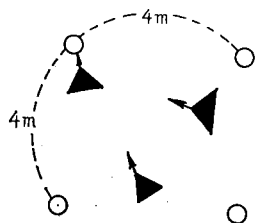


○パスの練習、カットの練習(基礎型)

▲オフエンス→カット

オフエンスは90度の円からなるべく出ない。パスを各種三方に送る。ディフェンスはボールに一人必ずあたりその他の者に一方的にコンビネーションを作らせる

従来の三角形より多角的パス、カットの練習に役立つ。



▽...ことしの2月17日別府市で行なわれた毎日別府マラソンで寺沢徹君(倉レ大阪)が2時間15分15秒8の世界最高記録で優勝した。この記録はいままでの世界最高記録保持者アベベ選手(エチオピア)の記録を破る

世界マラソンの王者

寺沢君はハンドボール選手。ベルリンオリンピックで鳴らした村社謙平氏のコーチで練習にはげんではる。▽:相撲社会にもハンドボール出身者がいる。それは幕内の岡ノ山(時津風部屋、岡山県出身)で、中学時代大いに活躍した。

寺沢君はハンドボール選手

○準備体操  
○連続して行なうトレーニング  
① 一列縦隊ジョッキング  
② ジャンプ(片足)  
③ 蛇行  
④ インターバルダッシュ  
⑤ 一列横隊ジョッキング  
⑥ バックターン  
⑦ 横転(腕立て)  
⑧ 前転、後転  
⑨ スタート(スタンディング、後向き、坐った姿勢、寝た姿勢)(上図参考)

バスケットコート位、とする。○反則はすべて相手チームのフリースローとする。○スローインもある。○時間は3分とし、これは勝敗の決しないとき、勝敗の決したときと、決しないで3分たったときは、30秒11分の休けいをとること。○開始はレフリースローから行なう。

○十本パスゲーム  
○人員5人一チーム。二チーム。  
○味方同志三人以上の手を経て10回パスをしたチームを勝とする  
(リターンパスはやつてもよいが回数に数えない。)

フリーパス(シュートを含む)試合前。練習の攻防戦前。各自がジョッキング、ダッシュ、各種パス、をおりまぜて行う。切込みにするシュートを含む動きもよい。人員は6名程度とし、声をかけコンビの流通と、準備運動として行う。

○マンツウマンを原則とすること  
○コートは7人制の半分位、或は

キーパーの技術について次号に特別寄稿をお願いしてある。

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使われて居る!



一 号

サービス部  
新宿区新宿2丁目電停前  
TEL (341)2979・1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6  
TEL 本所 (622)0746

連載第四回

ハンドボール球史

関東選手権と関西選手権

関東選手権

▽第一回と第二回の準決勝までは  
本誌12号に掲載  
▽第二回(昭和13年6月12、13日  
体育研究所)  
(決勝)  
明大 7(3-2)5 日体A  
▽第三回(昭和14年6月8日、神  
宮)  
(一回戦)  
早大 5-3 日体B  
慶大 11-3 浦和高  
YMC A 8-3 文理大A  
日体A 20-1 文理大B  
(準決勝)  
慶大 8-3 早大

日体A 10-3 YMC A  
(決勝)  
日体A 14(5-1)4 慶大  
▽第四回(昭和15年6月22日、芝  
公園)  
(一回戦)  
慶大A 12-1 早大B  
日体 27-2 慶大B  
早大A 17-6 法大  
東京ク 14-6 文理大  
(準決勝)  
日体 12-5 慶大A  
早大A 19-4 東京ク  
(決勝)  
日体 7(3-2)3 早大A  
▽第五回(昭和16年6月12、15日  
青山師範)  
(一回戦)  
慶大 8-3 早大


日体A 25-0 青山師ク  
(準々決勝)  
慶大A 15-2 東京ク  
早大A 5-0 慶大B  
日体 11-9 駿台ク  
(準決勝)  
慶大A 2-1 日体ク  
早大A 8-2 日体  
(決勝)  
早大A 7-2 早大A  
▽第七回(昭和18年7月3、4日、  
日吉、神宮)  
(一回戦)  
慶大 5-1 東京一師  
全明大 不戦勝 大正ク  
日体ク 16-1 全法大

関西選手権大会

▽第一回(昭和16年12月28、29日  
甲子園)  
(決勝)  
早大 7(4-2)6 日体A  
日体A 4-0 慶大  
(準決勝)  
早大B 10-0 法大  
慶大 6-1 早大A  
日体A 13-0 日体B  
日体OB 6-0 青山師ク  
法大 15-3 東京ク  
日体B 2-1 明大  
(準々決勝)  
早大 12-0 文理大  
法大 15-3 東京ク  
日体B 2-1 明大

▽第二回(昭和17年8月28、30日  
甲子園)  
(男子中学)  
(準決勝)  
豊中中 10-0 生野中  
北野中 4-2 八尾中  
豊中中 4-3 北野中  
(豊中中の2連勝)  
(一般女子)  
(準決勝)  
成徳高女 3-1 八尾高女  
梅花高女 16-1 扇港女商  
(決勝)  
梅花高女 3-1 成徳高女  
(梅花高女の2連勝)  
(関西選手権完)

日本ハンドボール協会公認球



シムレスボール  
ELEVEN号

ご用命は、もよりの  
運動具店へ (271) 3318~9. (841) 6868

夕チカラ株式会社





# 欄

## 7人制は球界の勝負

ついに7人制の一本化が決定した。

11人制を惜しむ声もあれば、いやむしろ遅きに失したという声もある。私の周囲は、おおよね7人制一本化に賛成である。しかし、ここで私は考えなげればいけないことがある。7人制の全面採用は、ハンドボール界にとって背水の陣であるということを……。

7人制一本化によって、ハンドボールが、急に世間の支持を得て、国内のメジャー・スポーツにおどり出るとは考えられない。ハンドボール界にしてみれば、今回の決定は「勝負」である。

協会幹部のモノの考えかたも、プレーヤーの自覚も、このさいすべてを一にもどし

本号の質問欄には、東京の武田譲治氏ほか六人の方から「スポーツ少年団」についての問い合わせがありました。その質問だけを採り上げました。

日本ハンドボール協会は二月の定例全国評議員会で、四月からスポーツ少年団の組織を活用してハンドボール少年団の編成を行なうことに決めました。

スポーツ少年団というのは、日本体育協会と日本スポーツ少年団本部が、その活動の中心となつて組織するのです。同本部が出した解説パンフレットによると「毎日、都会や村や町の空き地でキャッチボールしたり、泳いだり、キャンプしたりして

# 質問欄

て再出発の気構えをすることだ。そうしないととんだことになりはしないだろうか。

(宮城・島村生)

## O B戦の実現を期待

東京の友人たちの話によると、最近学生のゲームは大変おもしろくなり、リーグ戦運営もまことにうまいようである。

そこで学連諸兄にお願いしたい。ぜひ今シーズンあたりから、OB同志のカードを實現してはくれないだろうか。組織的な対抗戦でなくとも、交歓試合だけでもよい。7人制に変わったいま、OBのメンバーも編成しやすい。聞くところによると実業団選手権には、なつかしの顔がみられたとか。リーグ戦開催日に一試合づつでも組んでみたらどうだろうか。やがてはOBリーグ開催に発展し、おもしろいと思う。

(静岡 G T生)

的に、もう少し計画的にしたもの。同じ町、同じ村、同じ部落などの地域で、同じようなスポーツをする目的をもった少年達でクラブ(団)をつくり、それを登録したもの」ということになりました。

対象は原則として12歳から15歳までの男女中学生や勤労少年。クラブ(団)を組織したら、全国の市区町村の体育協会か、またそれに準ずる機関のスポーツ少年部に登録することになっています。

登録は規定の用紙に要項(九項目)を記入するだけでいい。登録されたクラブ(団)は、そのスポーツ活動を行なうとともに、日本スポーツ少年団本部の指定したスポーツテストを年二回以上行なわなければならない。

運営費は、原則として会費でまかなうことが理想とされています。PTA、婦人会などの後援組織をつくって、そこからの援

☆……長野・O B氏よりも同様の投書がありました。

## 無意味な教員の部

国体の大会要項は一度決めたらなかなか変えられないそうだが、あえて一言。ことしの山口国体から、教職員の部を設けたのはナンセンスだ。

これまでの一般男子の部に出場していたチームでも、主力が教職員だったところはかなり多い。教職員と一般男子を分けるほど、競技人口に厚みがあるとは思えない。それより実力伯仲、強力チーム目白押しの高校男女、一般女子のワクを広げるべきではなからうか。当の教職員の諸兄にしてみれば、自分が出るより自分の育てたチームを出すほうが「楽しみ」である。それが「励み」になるのではないのか。

(東京・小泉昌彦)

スポーツ少年団は、選手を養成する団体ではないスポーツに親しむ機会の少ない少年に、その機会を提供するのが狙いです。大きな競技大会は原則として開かれませ

ハンドボール界が、日本では未成熟のスポーツ少年団活用に着眼したのは、競技のPRという面でもたしかに注目されるものがあります。スポーツ少年団活動自体が一般にあまり理解されていない。軌道にのるまでには、ハンドボール協会の強力なバックアップがなければ、相当の時日を要するのではないでしょうか。

特に各中学ハンドボール部との関係など、研究すべき問題も多いようではないでしょうか。その感を強くします。(文責・杉山)

## 編集後記

▽：日本のハンドボールも7人制になった。4月からは新しいシーズンにはいいり、どこへ行っても7人制のハンドボール。新しいものに興味を持つのは人間の常である。高校男子や大学チームの選手はすべてが新しいものといっている。ことしは「ウサギの年」。新しいものと取り組んで、ウサギのように大きく飛躍してほしいものだ。全国のハンドボール愛好者のためにも……。

▽：本号は世界学生選手権の記録を掲載しました。初参加にもかかわらず、選手諸君は健闘してきた。7人制のヨサをたくさん持ち帰って……。遠征中に勝コーチが盲腸炎で入院する騒ぎもあったが、渡辺監督の統率力が物をいって無事帰国した。ご苦労さまでした。

▽：ことしの発行は13号が4月、14号は全日本学生選手権終了後の8月、15号は山口国体終了後、16号は39年1月を予定しています。期日までに発行したい気持ちはあるのですが、印刷屋の都合でいつも遅れています。この点あしからず。読者のご希望に沿うようベストをつくします。

▽：本誌はハンドボール愛好者のものです。レポート、写真、研究発表、大会の記録、県の球史、投書、質問、協会に対する注文、ご意見があればどしどしお寄せください。いまは記録保存の意味もあつて記録中心に編集していますが、近い将来にはもっと充実したマガジンにしたいと思っています。よろしく。(ふぶ)

レナウ工業株式会社  
レナウ商事株式会社



# レナウ | スポーツウエア

セーター・肌着・ランジェリー  
くつ下・婦人服地

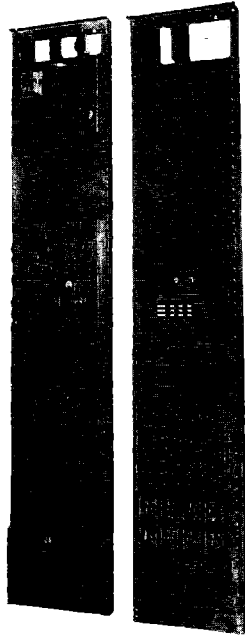


# Otsaki

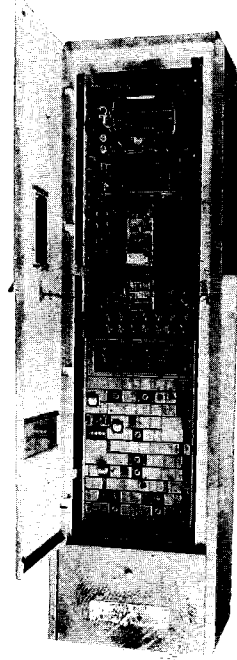
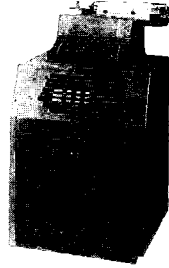
## 大崎電気の電子機器

生産の合理化と生産性の向上に

活躍するエレクトロニクス関係機器



中央指令式受量計算作表装置



送量装置

### デジタルテレメータ

電圧、電流、電力、電力量、水位、温度、圧力その他時々刻々に変化するいろいろな量を測り、数百メートルあるいは数キロメートル以上離れた遠隔の位置で自動的にそのデータを整理計算要約し、タイプライターにより直ちに役立つ生産管理用記録表を作成する自動装置であります。なお現在はオールトランジスター式で構成されております。

#### 営業品目

積算電力計、計器用変成器  
電流制限器、配電盤  
分電盤、ニュートラルスイッチ  
電圧調整器、テレメーター



## 大崎電気工業株式会社

本社 東京都品川区五反田1の263  
電話 (44) 2111 代表

日本ハンドボール協会編  
ハンドボール  
第十三号

昭和三十八年四月三十一日発行  
昭和三十八年四月三十一日発行  
発行所  
日本ハンドボール協会

東京都千代田区  
電話(20)九五一一  
振替東京五八三四八番

編集兼  
高嶋  
発行人

定価五十五円  
(一) 二十円